



新しい年を迎えて 「観光立市郡上」を更に一歩前へ

明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は元号が「平成」に改まり三十年の「節目の年」となります。特に、今上陛下が平成三十一年四月三十日にご退位される方向が定まり、その意味においても、「平成時代」の掉尾を飾るに相応しい、歴史的に意義深い一年となりますようにと願わずにはおれません。さて、昨年は、これまでになく海外へ出張する機会がありました。政策の旗印として掲げる「観光立市郡上」の推進に向け、先進的な取り組みを展開する観光都市を視察するため、七月一日から六日にかけて、六名のメンバーでスイスのツェルマットを訪問いたしました。有名なマッターホルンの麓に位置するツェルマットは、人口わずか六千人弱の村ですが、年間二百万泊もの宿泊客があり、その徹底した観光地経営に感銘を受けてまいりました。次に、七月二十日から二十二日までの三日間、岐阜市、下呂市、郡上市が連携する観光宣伝活動として、香港に行きました。香港は、郡上市とほぼ同じ面積の区域に、百七十倍以上の約七百三十万人が住む高密度都市であり、たいへん活気に満ちていました。現地では、日本総領事館や大手旅行会社等を廻り、三市長によるトップセールスを行ってきました。

そして、九月一日からは五日間の日程で、フランスのアルザス地方にあるカイゼルスベルクに行ってみました。訪問のきっかけは、この地方を含むオ・ラン県と友好・提携関係を深めている岐阜県庁から、「郡上市とよく似たカイゼルスベルクという町が交流先を探している。行ってみませんか」というお誘いがあり、「欧州への足掛かりをつかめたら」との思いを秘めつつ、訪問いたしました。古い町並みと古城、そしてまちを流れる川から導水した「洗い場」など、郡上八幡によく似た美しいまちでした。

最近、郡上市には海外から多くの観光客が訪れますが、外国の方にも国内観光客にも、そしてそこに住むわれわれ市民にとっても「居心地の良い魅力的な場所」でありたいと思います。海外に赴き、多くのことを見聞し、「とても敵わん」と圧倒される点もありましたが、「これなら負けん。郡上にはこれがある」という感を強くした点もありました。

今年もまた「観光立市郡上」推進のため、「郡上磨き」に努めたいと思いますので、市民の皆様のご尽力、ご協力をよろしく願います。

新しい年が、佳い年でありますようにお祈り申し上げます。

郡上市長

日置敏明



希望ある未来への新たな第一歩！

また日頃より、市政の発展と議会運営に対して多くのご支援とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

本年は、明治元年から起算して百五十年に当たります。明治においては、欧米諸国の文化や思想を吸収し、また参考にしながら文明開化を進め、議会議政の導入や新橋、横浜間の鉄道の開業、郵便制度の施行、義務教育の導入など多くの取り組みがなされました。国においては、本年を「明治百五十年」の節目の年として、さらに飛躍するための施策が展開されます。

昨今は、少子高齢・人口減少社会の到来、世界経済の不透明感の高まりなど、近代化に向け苦難であった明治期と重なっているといわれており、地方創生の早急な対応が求められています。市議会としても人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって魅力と活力に満ちたまちとして発展していくため「郡上市総合戦略」に基づき、経済、産業、教育、文化、生活

などあらゆる側面からの対策を積極的に推進してまいります。

市議会では、昨年の市内諸団体との懇談会や議会報告会での意見交換などを通じて伺ったご意見等を基に、委員会ごと防災力の強化、高齢者や学生に配慮した交通体系の見直し、婚活の推進、観光立市の推進、市有林の活用や獣害対策、子育て支援の充実、人材不足の解消など、新年度に向けた提言を市に対して行なっております。

まちづくりの「主役は市民の皆様」を念頭に、皆様のご意見に耳を傾け、思いに寄り添い、住みよいまちづくりのため様々な市政の課題解決に向けて全力を尽くし、市勢のさらなる飛躍と希望に満ちた未来への新たな第一歩となるよう、まちづくりを一層盛り上げてまいります。

結びに、新しい年が市民の皆様にとって実り多き年となりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

郡上市議会議長

渡辺友三